

ダニエル・カールの

聞きたい! 消防団

第21回

島根県海士町消防団

今回は、東京から飛行機や高速船などを乗り継いで約5時間をかけ、島根県の北部に位置する隠岐諸島の中の海士町をお訪ねしました。

海士町は積極的な地域活性化のための取組が評価されてさまざまな表彰を受賞されており、多くの島外からの移住者を受け入れられているそうです。そんな活気あふれる海士町でご活躍中

の消防団の皆さんの活動などについてお尋ねしたいと思います。

それでは、海士町消防団の前田忠章団長、楠見節雄副団長、山岡真幸分団長（海士町役場総務課職員）、万代勉分団長、宇野千秋副分団長、波多誠副分団長、海士町役場の吉元操総務課長からお話を伺いましょう。



前列左から、前田団長、ダニエル・カール、楠見副団長
後列左から、山岡分団長、万代分団長、宇野副分団長、波多副分団長（海士町役場で撮影）

海士町の概要について

ダニエル 海士町の概要を教えてください。

山岡分団長 島根県の北部の日本海に浮かぶ隠岐諸島は本土(島根半島)の沖合約60キロメートルに位置しており、この中の4つの有人島の一つ、中ノ島が「海士町」です。1島1町の小さな島で、面積約33.43平方キロメートル、周囲89.1キロメートルとなっています。

本土からの交通は、高速船かフェリーで約2～3時間かかり、台風シーズンや冬場の季節風が強く吹き荒れるときは、欠航して孤島化することもあります。

対馬海流の影響を受けた豊かな海と、名水百選にも選ばれた天川の水をはじめ、豊富な湧水に恵まれ、自給自足ができる半農半漁の島として、平城京跡から海士町の「干シアワビ」等が献上されていたことを示す木簡が発掘されるなど、古くから海産物の宝庫として知られていたようです。

また、奈良時代から遠流の島とされ、承久の乱(1221年)で、ご配流の身となられた後鳥羽上皇が在島されるなど歴史も古く、さらに、その独特の島の成り立ちや隠岐独自の生態系などから、海士町を含む隠岐諸島は、2015年にユネスコ世界ジオパークに認定されています。



島の出入り口となる菱浦地区の遠景

ダニエル 名産品もたくさん生み出していると聞きました。

山岡分団長 岩ガキの養殖や、革新的冷凍システム(CAS(Cells Alive System))という新技術で、細胞組織を壊すことなく凍結することができるシステム。長期間にわたって鮮度を保持できるので、とれたての味をそのまま封じ込め、解凍後もとれたての味をそのまま食することが可能になり、イカなど海士町の食卓の味を、直接、都市部に届けている。)の導入、和牛のブランド化(島生まれ島育ち隠岐牛)、ブランド米「海士の本気米」といった取組を行っています。

ダニエル おいしそうなのがたくさんあって、海士町の皆さんがうらやましいです。住み心地も良さそうですね。人口は何人くらいなんですか。

山岡分団長 平成29年4月末現在で、2,298人です。

ダニエル 島外から移住される方も多いそうですね。

山岡分団長 特別な支援制度はありませんが、平成29年2月現在、500人以上のIターン(都市部で生まれ育った人が地方に移住すること)の方が定住しています。

ダニエル すごい魅力のある町なんですね。

海士町消防団の概要及び消防団員の確保などについて

ダニエル 海士町消防団の概要を教えてください。

山岡分団長 海士町消防団の構成は、役場職員からなる本部班1つ、分団が2つとなっています。団長以下、副団長1名、分団長2名、副分団長2名、第1分団は8班、第2分団は4班からなります。各班は集落ごとに形成しており、第1

分団は島の北側、第2分団は南側となっています。条例定数は117名、実員は114名(平成29年5月29日現在)です。

本部班は水槽付きポンプ車、そのほかの班は小型ポンプ積載車を使用します。広域消防である隠岐島消防署海士出張所にはポンプ車1台と高規格救急車1台が配備されていますが、戦力的に消防団の役割が重要となります。

ダニエル 女性消防団員は何人くらいいらっしゃるのですか？

山岡分団長 女性消防団員はいません。

前田団長 かつては、船乗りが多く、男手が少ないことから、地区で婦人消防団を作るところがありましたが、今はありません。

島根県では、隠岐諸島の消防団だけいないんですよ。

ダニエル それは残念ですね。今は全国的に女性団員を増やしているところが多いですし、皆さんは広報活動など多くの場面で活躍されていますよ。(広報や避難誘導などの際に)知らない男性が家に来て扉を叩くとちょっと怖いということもあるし、女性の方が安心できると思います。

前田団長 確かに、声掛けは、女性のほうが向いているかもしれませんね。

山岡分団長 規則上、女性は入ってはいけませんということはないんですが…

ダニエル 消防団員の確保はどうされているのですか？

山岡分団長 伝統的に、班(地区)で定員を保つようにしています。退団(卒業)するときは、交代する人を捕まえておく方式ですね。募集チラシとか作ったことがないんですよ。

ダニエル 平均年齢は？

山岡分団長 41.7歳です。22歳から63歳まで

の方がいます。最近では、勤務年数5年未満の方が40人ほどいて、若返ってきていますね。

ダニエル 全団員の4割くらいですか。多いですね。Iターンの方も団員になっていらっしゃるのですか？

山岡分団長 Iターンの方は現在24名いて、全体の約2割ですね。

ダニエル 皆さんはどのような経緯で入団しているのですか？

山岡分団長 地区ごとに定員を満たす関係があるので、神社の清掃や、祭、盆踊り、地区でチームを作る綱引大会やソフトボール大会(練習を含む。)等の行事に積極的に参加するなど、地元になじんだ人が入団するケースが多いですね。



取材の様子

ダニエル 消防団員の方は最近サラリーマンが多く、地域によっては、会社との関係で出勤するのがなかなか大変だという話も聞きます。こちらはどのようにでしょうか？

山岡分団長 私は役場職員ですので、その辺はもう。(配慮してもらっています)。もともと役場より先に消防団のほうで正式採用されています。

ダニエル ほかの皆さんはどうですか？会社はサポートしてくれますか？

万代分団長 うちの会社の社長も消防団員です。会社では社長ですが、消防団ではわたしの

ほうが先輩ですので(笑)。

宇野副団長 うちも、どうぞ何かあれば行ってください、ですね。

波多副団長 うちも一緒です。自分が社長で消防団に入っているのです、例えば若手が消防団に入りますというときは駄目とはいえないですね。

ダニエル なるほど。海士町では、消防団員さんは活動しやすい環境のようですね。

こちらでは、消防団員になることにステータスがあるのかもしれませんがね。

前田団長 どうでしょうかねえ。でも、ちょっと何かあると、火事に関係なくとも、消防団でなんとかしてくれないかと頼まれることはありますね。



団長とダニエル

防災対策など

ダニエル こちらで一番心配な災害は何でしょうか? 台風ですか?

吉元総務課長 台風ですかね。最近は少ないですが、やはり心配です。

ダニエル よく来るんですか?

吉元総務課長 来るんですが、大体はここに来る頃には勢力が弱まっています。何十年に1回、九州を当たらずに直接こちらに来るのがあるんですよ。

ダニエル 台風を含めて、過去にあった大雨災害で印象的なものを教えてください。

前田団長 昭和52年の大雨ですかね。この後、町が砂防ダムなどの防災対策をしっかりと整備してくれたので、今はあまり心配がないような状態になりました。

ダニエル 津波はどうですか?

前田団長 過去に2回ほど経験しています。昭和58年の秋田で大きな被害が出た地震(日本海中部地震)と平成5年の奥尻島で大きな被害が出た地震(北海道南西沖地震)のときだったかな。(昭和58年のときは)船が岸壁に上がったりなどしました。

吉元総務課長 (平成5年のときは)津波は2mほどのものが来ましたね。

楠見副団長 そのときは、水がかなりひきましたね。

山岡分団長 水が引いて、(地図をさして)こちらの諏訪湾では、底がみえるくらいでした。

ダニエル 避難対策はどうなっていますか?

前田団長 津波マップを配付しています。

山岡分団長 津波のときに逃げる場所を地区ごとに決めており、(マップでは)何メートル以上の津波がきたらここまで逃げてという情報もありますし、海拔表示や避難所の場所も明示しています。ホームページでも見られるようにしてあります。

ダニエル どこに逃げればいいのか、大体皆さんは頭に入っているんですね。

前田団長 はい。把握しています。

ダニエル 訓練もされていますか?

前田団長 町が主体となってサイレンを鳴らし、近くの避難所まで何分かかかるかという訓練をやっています。

山岡分団長 地区の中には、足腰が悪いお年

寄りも多いので、車をどうしても使いたいところがあります。区内での一方通行ルートをみんなで決めていただきたいので、そういった話し合いをこれから地区の方にしてもらおうかと思っています。逃げる人、(お年寄りを)迎えに行く人が一緒になって道が混むのが怖いので。

ダニエル いいアイデアですね。東北でも、広い道路が渋滞で麻痺してしまい、津波がその後に来て大変だったと聞きましたので。

前田団長 老人介護が必要な人は、全部名前を挙げて、声掛けをしています。

ダニエル 足腰の悪い、あまり歩けない方々のリストもつくっているのですか。

前田団長 はい。作っています。

ダニエル 地元の消防団員さんたちは大体それを把握しているのですか。

前田団長 地区ごとですね。他のところに行くとは分からないのですけれども、地区では大体分かります。

山岡分団長 今、リストを、声掛けレベルから、あそこのおじいさんはちょっと最近耳が遠くなってきたなというようなご近所さんの情報も集めています。近所の人の誰かがいざというときに、見に行ってから逃げられる体制のためのリストアップをしています。



土のう作りの様子



地域住民との訓練の様子

ダニエル 自主防災組織との関係はどうなっていますか。

山岡分団長 自主防災組織は地区単位としています。要介護者の避難のサポート等で必ずしも消防団が動けるとはかぎらないので、自主防災組織(地区内)でサポートできる人のリストアップを始めている地域もあります。

ダニエル 準備万端ですね。よくいわれていることですが、災害は忘れたころにやって来る、ですから、準備は欠かしてはいけませんよね。ほかに心配な災害はありますか？

前田団長 山火事です。

ダニエル 山火事もですか。台風、大雨、津波、火事と、勢ぞろいですね。

前田団長 最近は大いぶ少なくなりましたが、昔は松くい虫がいっぱい来たもので、それで伐開した松を焼いたら、1カ月に2回ぐらいの頻度で山火事がありました。今は燃やさないで全部チップにするようにしています。

ダニエル 対策のためにどのような訓練をしていますか。

前田団長 最近、新入団員が若くなったので、とりあえず、全員が水を出せるようにしようと、訓練に取り組んでいます。

ダニエル ポンプですか。

前田団長 ポンプ操法です。誰が替わっても水が出せるようにしておかないと。僕はこの係ではないから、(係の人が)来るまでは駄目ですという感じではいけないと思いますので。新入団員が入ったら、古参団員は、ホースのつなぎ方、エンジンの掛け方、筒先はこう持って出すのだよということなどを教えて、(水を出すための)最低限の訓練はやっていきたいと思っています。

ダニエル 最後に何か海士町の消防団について、PRしたいことやご自慢のことがあれば、ぜひお聞かせください。

前田団長 何かあったかなあ。

ダニエル 全国大会や県大会で賞をもらったとか。

前田団長 そういうのは、ないですね。

ダニエル 何かありませんか？

消防団の皆さん うーん…

ダニエル こちらの町のキャッチフレーズ

の「ないものはない」ですかね(笑)。

対談を終えて

海士町はもとより、隠岐諸島には、今回、初めて訪問いたしました。

島の歴史や、ジオパークに認定されたすばらしい観光資源、数々の名産品などなど、大変魅力的な島であることを教えていただきました。

皆さんは謙遜されていましたが、取材の雰囲気良さから、皆さんの人柄の良さが伝わってきて、こちらの一番の自慢は「人」なのではないかなと感じました。だからこそ、この島に多くの人々が移住されているのではないのでしょうか。

離島ということで、災害対策など心配なことが多いと思いますが、皆さんのすばらしいふるさとをこれからも守ってってください。

海士町消防団の皆さんのいっそうのご活躍をお祈りいたします。 (ダニエル・カール)



出初式での放水の様子